

令和2年度 林業労働力強化対策事業企画運営委員会の審査選考に伴う意見を踏まえた総評  
(継続募集(10月末締め))

■本事業の趣旨

本事業は、体質強化計画に参画する林業経営体等を対象に、安全衛生装備・装置の導入及び安全衛生に関する研修の経費補助を行って、安全で衛生的な働き方改革を実践する職場づくりを支援して、林業労働力の確保に向けた取り組みを推進するものです。

安全で衛生的な職場環境の確保に向けた取り組みは、現場技能者や地域の林業経営体が必要とする安全衛生装備・装置の導入と、林業労働安全衛生に関する研修の実施をセットとして行います。

本総評は令和3年9月6日から令和3年10月22日まで交付申請を受け付けた継続募集(10月末)の結果です。このため、選定経営体は、第一次から第三次募集結果(総表)も参照して事業を遂行すること。

■取り組み事業

気象データは間接的ではあるが労働安全衛生に影響すると評価できるが、試行運用する利用範囲と試行後の運用方法を明確にすること。また、労働安全衛生に対して運用するデータの内容とその効果について実績報告書(概要)に取りまとめること。

■研修計画について

事業は国庫補助による安全衛生装備・装置の導入と普及をとおして、地域の林業労働災害の撲滅を目的としている。また、導入する安全衛生装備・装置の地域への普及啓発が事業の目的の一環である。

このため、安全衛生装備・装置を活用した研修会の開催は、申請経営体の職員のみを対象とするものではなく、地域の多くの林業経営体や行政機関の参画を得て開催するよう検討すること。

なお、コロナウイルス感染症拡大に配慮して動画配信なども検討課題として積極的な普及啓発に取り組むこと。

■安全衛生装備・装置の普及方法について

具体的な地域への普及を意識し、様々な媒体を活用したPR等を行うこと。

以上